



心に映る川の風景

平福地区の佐用川で野菜を洗う人の姿(関連記事2ページ)

特集 川は心のふるさと



7年前の大水害からまちが1つになって取り組んだ災害に強いまちづくり。その基盤となる河川改修が終わりました。人の営みや川の形が変わっても、私たちの心には清流千種川の景色が宿っています。まちの風情を後世へ伝えるため、川の風景や自然を守るかたを紹介します。



この水は何℃かな

水が浅くなったり河川の改修で水温が上がってすむ生き物が変わります。水温調査は、まるで健康診断のようです。同委員会は、水温と水の汚れ具合を平成14年か

※調査の結果は10ページで紹介しています。

石井地区で調査した小学生の平井佑我さん（上石井）は、「冷た」と声を上げて水に入ります。温度計

を沈めてじつと見つめ、水温を読み取ります。町内で最も上流域にある奥海集落の水は22℃。とても冷たく感じます。一方で、上上月集落では36℃。例えばアユは水温が25℃を越えるところを好まないように、水温から川の生き物がどこに居るのかを知ることが出来ます。

子どもたちと調査した平尾一好さん（水根）は、「こんなきれいな川があるんやから、川のことを知ってほしいと思うてなあ」と、毎年子どもたちを誘って調査へ参加しています。

千種川圏域清流づくり委員会は、いつまでも川の美しい流れを保てるよう、夏の水温が高い時期に千種川全域の水温を調べています。

川の健康診断



小さなビンで水を持ち帰って、汚れ具合を調べます

人と地域 行政をつなぐ まちの総合情報誌

広報 **でよう** SAYO 平成28年 9

CONTENTS 今月のもくじ

- 02 キラキラヒカル
- 03 特集「川は心のふるさと」
- 16 クローズアップ
 - 16 平成21年台風第9号災害から7年
 - 17 ひまわりオイルサミットを開催
 - 18 にぎわった夏
- 20 まちのわだい
- 22 まちの情報ホットライン
 - 22 生涯学習ひろば
 - 24 今月の健康
 - 26 9月のお知らせ
 - 30 暮らしの情報
- 32 笑顔の輪 わが家のアイドル

COVER 今月の表紙



平福地区の佐用川で野菜を洗う人の姿は、しばらく前までは見ることができたそうです。今も残る川へ降りる階段だけが、昔の風情を残しています。皆さんの記憶には、どんな川の景色が残っていますか。

●「広報さよう」は 佐用町公式ホームページでもご覧になれます。
アドレス <http://www.town.sayo.lg.jp>



※撮影のために網を持って川へ入っています

まちで輝く若者を紹介します Vol.38

キラキラヒカル

尾崎亮介さん（福沢）

今の環境を残したい

尾崎さんは、福沢集落の大谷川という沢で魚を追いかけて育ちました。「3歳頃かな、サワガニにはさまれて泣いたのを覚えてます」と、話します。

小学生のころに尾崎さんの家を姫路市立水族館元館長の市川憲平さんが訪れ、山の中の田んぼがビオトープになりました。「不思議な縁で結ばれてるんですかねえ」と、話すように、町内22で生物を保護する市川さんたちと数年前に偶然再会しました。尾崎さんは、ビオトープで外来種の生き物を捕まえたり草を刈ったりして保護活動を手伝っています。

活動していると、会話の中から今まで知らなかった生き物の話が耳に入ります。「昔から比べるとずいぶん生き物が少なくなりました。せめて今の環境をずっと残したいですね」と、ほほ笑みます。



特集 川は心のふるさと 緊急河道対策が終わる



大きく流れを変えた千種川と佐用川。その合流点に復興ひろばがあります



佐用地区の川の護岸で開催した駅伝大会



平福地区の古い町並みをながめながらウォーキング

川を使って活力ある地域をつくる

県は、「地域に愛される川になってほしい」と、改修で災害に強い川にするだけでなく、淵や植生の再生など自然の回復や、桜の堤

幅が広げられ、底の削られた川は、大雨の時にこれまでの水位よりも低くなっていることが確かめられ、災害に強い河川となりました。

式の終わりには、上月小学校の児童が「川を元気に泳いでほしい」と願いを込めてあゆを放流し、「きれいな川になりますように」などと書かれたメッセージをつけた風船を、一人ひとりが手に持って空へ放ちました。

げて河道の対策に取り組始め、国の支援を受けて工事が進みました。全長55キロにわたる例を見ない大規模な河川改修に庵迺町長は「地域住民や土地所有者の理解だけでなく、多くのかたの協力があつたことに感謝したい」と、話しました。

や遊歩道など人が憩う場所の整備に取り組んできました。完成した護岸ではウォーキングや駅伝の大会が開催されています。荒木一聡副知事は「治水の安全は向上しました。これからは皆さんが完成した川で活力ある地域づくりをしてほしい」と、川の未来に期待を膨らませます。



希望を乗せて舞い上がれ

河川改修を終える式典を復興広場で開きました。地域に親しまれるよう工夫された川で、活力ある地域づくりを始めます。



一丸となって取り組んだ復興

大規模な工事が続いた千種川の河道対策が終わり、30日に、久崎地区に作られた復興ひろばで、兵庫県と佐用町、上郡町が開催しました。式の始まりに上郡高等学校和太鼓部が、勇壮なばちさばきを披露して式典に花をそえました。

庵迺町長はいささつの冒

頭で「7年前の災害で多くの尊い命を失い、変わり果てた町の姿に、なんとか立ち上がらなければならぬ」と、町民が一丸となった」と、振り返りました。私たちは、災害からすぐに駆けつけてくださったボランティアや近隣市町の方々の支援を受けて、生活の再建ができました。その年の11月には県が総力を挙



復興モニュメントの上を飛ぶ風船が、希望を抱かせます

特集 川は心のふるさと
記憶と教訓を語り継ぐ

記憶を確かめる

久崎集落には、被災体験を聞きに各地から研修に訪れます。早めの避難、日ごろからの近所づきあい、川のことを知ることが大切です。

鳥取県から視察に来た自治会グループへ語る井口寛さん（右から3人目）



水害時の水位を説明する



改修した河川を案内する



町の安全のために質問する研修者

**自らの記憶を
忘れないために**

平成22年に久崎集落へ「水害の体験を話してほしい」と、福知山から視察の申し入れがありました。初めての依頼に、集落の皆さんが試行錯誤して対応しました。ひとつずつ記憶をたどるように案内した皆さんは「体験を話すことは、視察するかたへ思いを語るだけでなく、自分自身が被災の記憶を忘れず防災意識が高まる」との想いをともにしました。

そこで久崎商店会では「防災ツーリズム」を始めました。これまでに約30の団体が「地域の防災にどんな工夫が必要か参考にしたい」と訪れました。ツーリズムでは「どんな防災体制を取っているのですか」とよく聞かれます。案内する井口寛さん（久崎）は「大切なのは防災体制ではなく、まず自分で判断して水が出る前に避難所へ行くことです」と、早めの行動を呼びかけます。

日ごろからの おつき合い

垂直避難の話には「私の家は平屋で2階へ避難できないんだが」と、具体的な質問も。「近所で2階建てのかたにあらかじめお願いして、避難する道を確認するといいですよ」と、日ごろからのつき合いの大切さを訴えます。

井口さんは「最近はずいぶん川で遊びにくくなったなあ」と心配します。「川を知ること、川の楽しさや水の怖さを知ってほしい」。川と暮らす井口さんの願いです。

肌で感じる防災学習

利神小学校4年生が、地域のかたから水害の体験を聴きました。



頭上はるか上の水の痕を説明する加藤隆久さん（右）



柱に残る水の痕で水位を体感



写真と声で体験を語る安藤勲さん



熱心に聞き入る児童たち

不安で仕方なかった

利神小学校では、4年生が防災学習で、平福地区のかたから平成21年の水害の体験を聴きました。4年生は7年前にはまだ幼児。夜に自宅周辺で水があふれたことをほとんど覚えていません。

ランチルームに集まった児童は、安藤勲さん（平福上町）から話を聴きました。安藤さんは、当時の写真を使って、「暗闇の中、不安でしかたなかった」と、話します。床の上まで水かさが増したことや、「ドーン」という流水が建物へぶつかる音や車のクラクションなどの話に、静かに耳を傾けます。

翌朝になって写した町の光景に、児童たちは息をのみます。安藤さんは「暑い日が続いたけど、元の町並みに戻るようみんなを支えてあげて片付けました」と振り返ります。

災害を肌で感じる

児童は水害の爪痕を見に、平福地区の町並みを散策しました。昔ながらの町家の柱や壁に、うつすらと残る水の痕。案内する加藤隆久さん（平福中町）は「これまで水が来たんですよ。想像してみてください」と問いかけます。児童たちは、今自分たちが立っている道に、ひざの上まで水が押し寄せたことに驚きます。

観光名所の土蔵の壁にも水で削られ補修した痕が残ります。見学したときは穏やかにせせらぐ佐用川の変わりようを、肌で感じた学習でした。



特集 川は心のふるさと 地域と行政が向き合った川の改修

川に親しめるまちづくり

県は改修で生れ変わる川が地域に親しまれるよう、自然の再生や地域の風情に合わせた工事に、住民と一緒に取り組みました。

大垣内集落の水辺公園へ戻ってきたホタル

岩谷晴雄さん

元県光都土木事務所
河川復興室長



ホタルの幼虫がさなぎになれる護岸



平成 26 年に大垣内集落に水辺公園が完成

人と自然が共生する 川づくり

「大垣内にホタルが戻ってきたと聞いてうれしかった」と喜ぶのは、昨年度末まで県光都土木事務所河川の復旧復興に努めた岩谷晴雄さん。県は河川の復旧と大雨に対する対策工事を、〝人と自然が共生する川づくり〟を理念に進めてきました。流域の住民は、生活の中で川の水を利用し、川で遊び川にまつわる文化を持っているからです。

岩谷さんは「水辺の自然を残して、地域に合った川との暮らしや風情を残したかった」と、話します。そのため地域住民や学識経験者など、広く意見を聞いた川づくりが進められました。改修した川にはウォーキングコースや親水公園、

「川に渕や瀬を作ったところがあるんですが、思ってもみないところに水の流れる『みお筋』ができてしまつて。自然の力にはありませんね」と、ほほ笑みます。

災害に強い川が完成しました。川はふだんでも流れが急なところや水が深いところなど危険が潜みます。そんな自然を子どもへ伝えられる場も川です。

「川と親しんでまちづくりに生かしたり観光資源につなげたりしてほしい」。岩谷さんは改修された川が「新しい心のふるさと」になることを願っています。



桜の咲く昔の面影を取り戻す

「久崎の川を考えるワークショップ」で、次の世代が川を楽しめるような改修のアイデアが実現しました。

平成 26 年 3 月、桜の植樹に集まった久崎地区の児童と集落の皆さん



葉を茂らせる桜の木



平成 26 年の桜の植樹

三宅賢三さん

元久崎集落自治会長

久崎の川を考える ワークショップ

久崎は今も多くのご家庭が井戸水を使って生活し、河川敷の桜並木や伝統を復活させた高瀬舟など、川とともに暮らしてきた集落です。

桜並木を取り戻したい

県は親しみが持てる川づくりができないかと、平成 22 年に当時の自治会長三宅賢三さんを訪ねました。集落へ相談したところ、住民代表が集まって「久崎の川を考えるワークショップ」が実現しました。

以前からの散歩道であった川沿いの道は、ウォーキングコースとして生まれ変わりました。

三宅さんは「会を持ってもらってよかった」と、笑顔を見せます。全部で 5 回開かれたワークショップでは、川へ住民が集えるアイデアが飛び交いました。環境防災総合政策研究機構の助言も得て、いくつか

の案が形となりました。「子どもたちに川と親しんでほしい」と願う地域の声は、高くなった堰堤から川原へ降りる階段や、石をならべて魚や虫が集まる親水公園となりました。

春になると桃色の回廊となっていた桜並木は、川の幅を広げる工事で失われましたが、次の世代の住民が楽しめるよう、新しい堤に苗が植えられました。「桜の咲く昔の面影が残せたら」。集落の皆さんの想いは未来へつながっています。

9月上旬に千種川流域のライオンズクラブ、小中学校、高等学校、町いずみ会は、昭和48年から合同で川の生物調査を行っています。



森本 實さん
千種川生物研究



千種川の歴史が刻まれています

千種川の水質を守ろうと

が息づいています。

調査が始まった時から携

ほほ笑みます。

「以前はいたキイロカワ

日照りや河川が浅く
なつて高温に

再生を見守る

0℃でした。

ます」と、話します。調べ

い」と意気込みます。

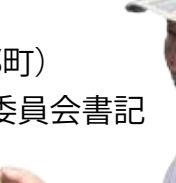
どになっています。

な姿に戻る

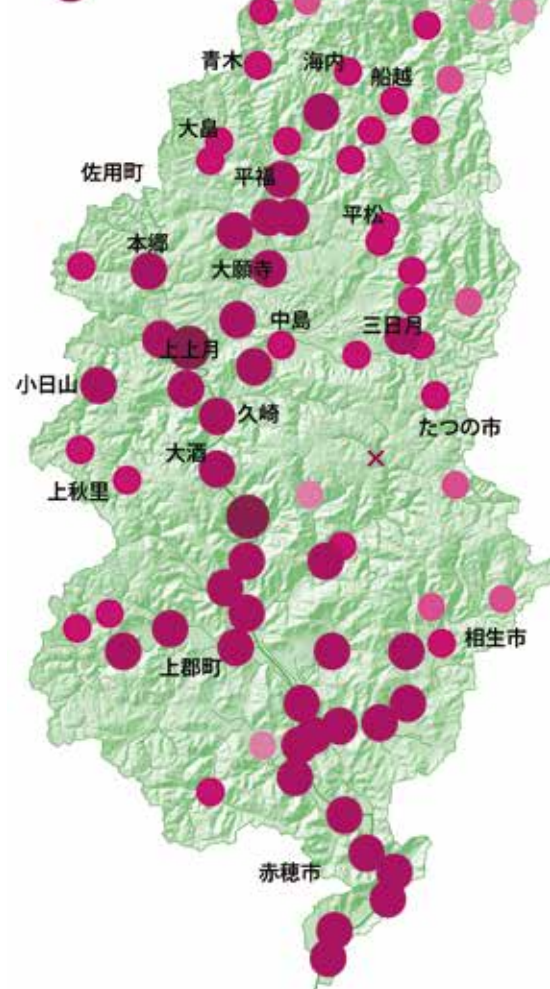
ず」と、期待します。

超えて受け継がれます。

上郡町)
り委員会書記

A man wearing a white short-sleeved shirt, a grey long-sleeved shirt underneath, and a grey cap. He is holding a map in his left hand and pointing at it with his right hand. He has a watch on his left wrist.

平成 27 年度調査の水温





海とつながる「河口」

アユの稚魚が堰に設置された魚道を力強く上る（赤穂市）



始まりの1滴が海と出会う千種川の終着点（赤穂市）



自然を育む「清流」

水の底のチチコを探して釣り糸をたれる（船越）



特集 川は心のふるさと 川を知る。川を楽しむ

千種川は宍粟市の北部に端を発し、赤穂市の瀬戸内海へ流れています。名水百選の川を誇りに思い、将来へ受け継ぐために、川に親しむイベントが開かれています。



チチコ：久崎地区でのカワヨシノボリの呼び名

チチコが釣れたよ



谷に積もった落ち葉をかき分けると、水がしみ出てきます（宍粟市）



県境の山道。左右で木の種類が違います

川が始まる最初の1滴

広葉樹林から始まる 千種川

宍粟市の千種高原スキー場からさらに北の山へ入ります。ここが、千種川の源です。人の手が入っていないこの森には豊かな自然の姿が残っています。

尾根の反対側にある岡山県は森林開発が進み針葉樹の森となっています。兵庫側はブナ林で、県境がわかるほどです。広葉樹の森の中は、日の光をいっぱいに浴びた葉によって、辺りは緑色の光に包まれています。

広葉樹の落ち葉の土壌はベッドの上のようにふかふかです。観察に訪れた天児屋川の源流では、谷にたまった落ち葉をかき分けると、水がしみ出てきます。落ち葉に含まれた雨や霧な

どの水分は1滴の水となり、およそ50^キ離れた海へ向かって流れ始めます。

川遊びの体験を 子どもたちへ

私たちの町は千種川の上流から中流域にあり、澄んだ水が豊かに流れる場所にあります。水は私たちのものを潤すだけでなく、作物を成長させ、多くの生き物を育みます。

「木の名札を持って行ってよう泳ぎよった」「上級生に連れてってもらって、やすで魚をつきよった」そんな懐かしい話を耳にします。しかし最近遊びの多様化や川へ入ることを禁止した場所が増え、川で遊ぶ子どもたちの姿を見ません。

教育委員会生涯学習課が

実施する「さよう子ども体験くらぶ」は、川のことや危ないところなど、川と私たちのつながりを伝えようと、川遊びをしています。

ズガ二、うなぎなどのように、清流を求めて上流へやってくる生き物もあります。山と海は川でつながっています。

子どもたちはチチコ（カワヨシノボリ）を釣ったり、網で魚をすくったりして、川に触れる時間を作ります。すくった生き物は、子どもたちが図鑑で調べて解説するミニ水族館で、川に親しむ人の輪を広げます。

千種川圏域清流づくり委員会は毎年5月に、海で育ったアユの稚魚が川を上る観察会を赤穂市で開いています。5^キほどの稚魚が、流れの速い魚道をのぼる姿に、自然のたくましさを感じられます。

山と海をつなぐ川

川は多くの支流の水を集め、水量と幅を広げ河口でゆったりとした穏やかな流れになります。そして広い海へたどりつきます。最初の1滴に含まれていたミネラルは、海でプランクトンや海藻などの生き物を育みます。海からは、鮎やモク

今から50年ほど前には、全国各地で川や海の汚れが問題になりました。幸いなことに、千種川は流域に住む人々のモラルに守られて、名水百選に選ばれるほど美しい水を保っています。流域の私たちが一緒にやって行動し、美しい清流を将来に受け継がねばなりません。

何百年もすれば 淵は戻ってくる

特集 川は心のふるさと よみがえるふるさとの川



平らになった川でオオサンショウウオが生きていけるか心配。
自然の力でみお筋ができ葦が生い茂ってきました。

みお筋と葦が戻った大願寺の佐用川を喜ぶ山川修さん



オオサンショウウオの体長を測る



夜間のオオサンショウウオ調査



葦や草花が戻った佐用川(早瀬)

ホタルの舞う 風情を残したい



矢原山ほたるむらは、昔に感激したホタルの乱舞をいつまでも見られるよう、保護活動を行っています。

ホタルの幼虫を手取る児童をほほえましく見守る大西茂さん(中央左)



ゲンジボタルの幼虫



ホタルの幼虫の放流(桜山川)



星空を舞うホタル(金子)

ホタルが戻ってきた

平成18年、金子集落をにぎやかにしようと始まった「矢原山ほたるむら」。むらは「昔ながらの風情を残したい」と、ホタルを増やす試みを続けています。

山や川を宝に思っ てほしい

「初めは幼虫の育て方がわからなくてね」と、ほほ笑む代表の大西茂さん(金子)。むらの皆さんはホタルのことを学び、卵がかえって幼虫が育つ夏の時期に、川の草を刈らないようにしました。大西さんは「翌年にはすぐにホタルの数が増えたのを実感したね」と、振り返ります。県民局環境課の支援もあって、ホタルは数を増やしました。

水害のあった平成21年は養殖の設備が流されて、幼虫の飼育ができませんでした。「翌年は少なかった。

でも、2年3年経つとホタルが戻ってきて、今ではすっかり元のように舞うようになったね」と、話します。

毎年3月に、幕山地域づくり協議会のイベントで幼虫を川へ放しています。「子どもたちにホタルのことを知ってほしくて」と、話す大西さん。幼虫が川にいること、カワニナを食べること、1週間だけ空で輝くことを、子どもも大人も学びます。「ふるさとの矢原山や川のホタルを宝に思っほしい」。そんな想いがむらの名前にこめられています。

6月の観察会で、美しい輝きが眺められます。

オオサンショウウオは生きていけるか

山川修さん(円応寺)たちは「佐用川のオオサンショウウオを守る会」で川の環境保護に努めています。山川さんは「災害に強い川になったけど昔から見慣れた川が削られるのはさみしかったね。淵の名も伝えられなくなった。」と話します。

川の改修が終わると、岸はコンクリートで固められ川底は岩が削られて平らになりました。山川さんは「これで魚がすめるのか。オオサンショウウオは生きていけるのか」と心配します。

自然の力で

“みお筋”が戻る

しかし、改修から1年経つと、石や砂が流れのゆる

やかなところにたまって水の流れる“みお筋”ができています。春には河原に菜の花が咲き、夏には葦が生い茂ります。山川さんは「何百年もすれば水が岩を削って淵に戻るかもしれない」と期待を膨らませます。

このところのオオサンショウウオの調査では、生まれたばかりの幼生が見つかっています。「網の中で動いているのを見たときはうれしかったなあ」と、ほほ笑みます。「川の再生は今始まったばかり。僕らも頑張らんとね」。山川さんたちは、ずっとオオサンショウウオがすめる環境を守りたいと願っています。

自然の力と私たちの想いで、川が心のふるさとへよみがえる日は、そう遠くありません。

Monthly Pick up
今月の注目

1

平成21年台風第9号災害から7年

いつまでも忘れない

大きな被害を受けたあの日から7年がたちました。町民が同じ思いでつながる8月9日に、追悼の祈りが町内各地でささげられました。

町並みや河川の復興が進み、まちは平穏を取り戻しました。しかし、災害で犠牲になったかたへの追悼の気持ちと、つらく大変な

思いをした記憶は、いつまでもいえるものではありません。

今年の8月9日は、暑い日差しが青空が広がりました。久崎地区の復興ひろばへ建てられたモニュメントの前には、ご遺族のかた、町民、町関係者約100人が集まりました。



追悼の気持ちを込めて花を手向ける

モニュメントには、亡くなった20人のかたの名前が刻まれています。参列者は一同に黙とうして、あの日のことを思い出します。献花台へ進み一人ひとりが白い菊の花を供え、亡くなった尊い命へ祈りを捧げました。

■やわらかな光が心をつつむ

皆田和紙保存会が行燈祭を開催



やわらかな灯りをながめる

皆田和紙保存会が、「行燈祭」を8月9日に紙すき文化伝承館で開催しました。広場に並べられた約230基の行燈は、保存会や町民が作ったものを持ち寄ったものです。

会場には7年前の同じ時刻に助け合った絆を確かめようと、約300人が集まりました。

辺りが暗くなると、会場は、和紙からこぼれるぼんやりした光に包まれました。その光に映し出された知り合いを見つけると、「暑いなあ、元気にしよってか」と、普段と変わらぬ会話で、旧知の仲を確かめていました。

Monthly Pick up
今月の注目

2

佐用町、島根県出雲市、香川県まんのう町の1市2町が初サミットを開催

ひまわりオイルを広めよう

ひまわりオイルの魅力を発信しようと7月22日、南光ひまわりドームで「第1回ひまわりオイルサミットinさよう」が開かれました。専門家の講演や事例発表などでその魅力に迫り、「オイルを社会に広めるため、互いに連携強化を図ろう」とサミット宣言を採択しました。

つながりを 全国に広げたい

ひまわりをテーマにまちづくりを進める市町は多数ありますが、ひまわりオイルを製造する市町は少なく、結果、ひまわりオイルは他のオイルと比べて認知度が低いという課題を抱えています。

今回のサミットは、ひまわりオイルの魅力を合同で発信しようと本町が全国各地に呼びかけ、島根県出雲市と香川県まんのう町が賛同し、初めて開催しました。サミットでは、庵道町長が「ここで交流したつながりが全国に広がり、さらに

ひまわりオイルの価値、魅力を高めていけるよう、今後の展開に期待したい」とあいさつ。その後、ひまわりオイルの効能に関する講演や生産者代表による事例発表などが行われました。

オレイン酸や ビタミンEが豊富

基調講演では、神戸大学大学院農学研究科の山下陽子さんが、ひまわりオイルの効能や調理法などを紹介。山下さんは「1市2町のひまわりオイルには、オレイン酸やビタミンEが豊富に含まれ、悪玉コレステロールを減少させる効果が

あり、健康や美容にもいい。ぜひ、活用してほしい」と参加者に呼びかけました。その後、1市2町の代表者が事例発表を行い、合同でオイルのピールに取り組むサミット宣言を採択すると、集まった約300人の来場者から大きな拍手が贈られました。

また、会場では、1市2町のひまわりオイル関連商品の販売が行われたほか、食育ボランティアグループ「佐用町いずみ会」のメンバーや佐用高校生が、ひまわりオイルを使ったピラフやクッキーを来場者に振舞いました。



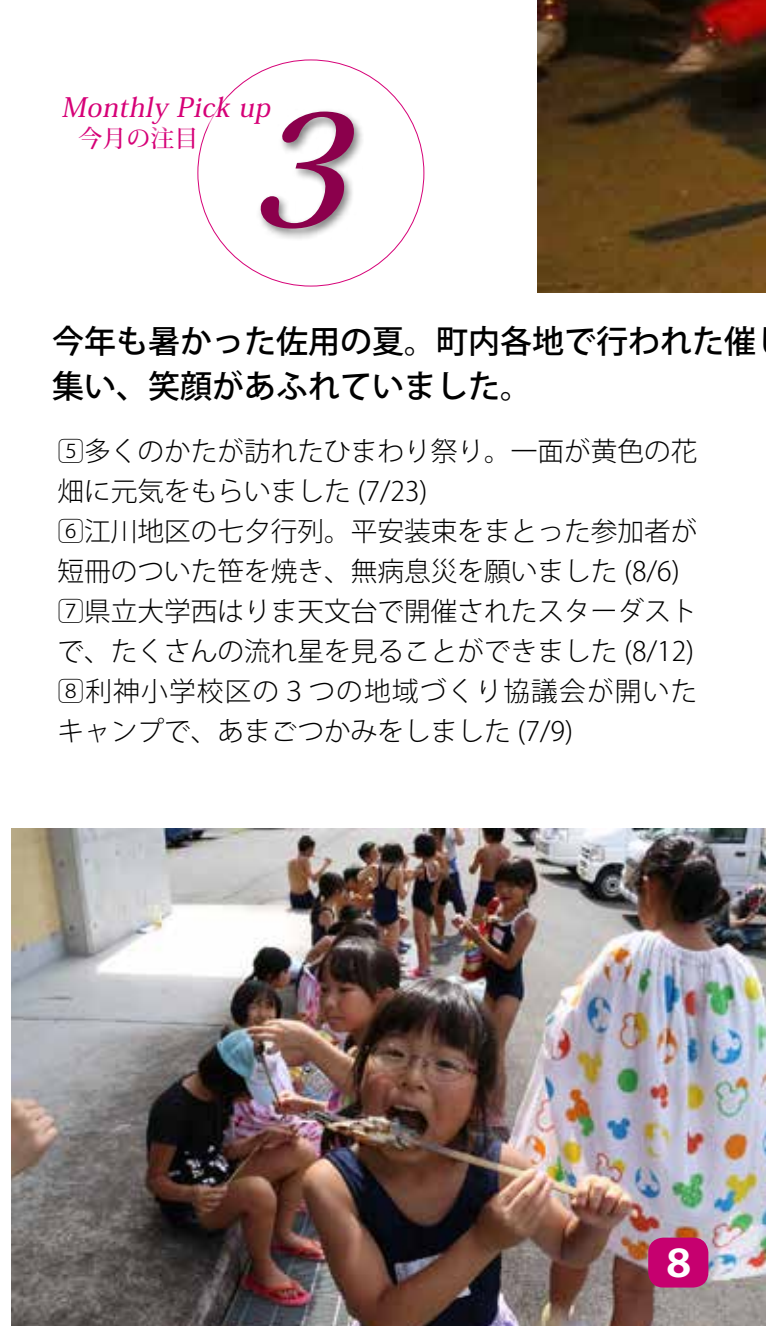
「ひまわりオイルをひろめよう」と、サミット宣言を採択



ひまわりクッキーを紹介する佐用高校生



オイルの効能が紹介された基調講演



Monthly Pick up
今月の注目

3

今年も暑かった佐用の夏。町内各地で行われた催し
集い、笑顔があふれていました。

- ⑤多くのかたが訪れたひまわり祭り。一面が黄色の花畑に元気もらいました (7/23)
- ⑥江川地区の七夕行列。平安装束をまとった参加者が短冊のついた笹を焼き、無病息災を願いました (8/6)
- ⑦県立大学西はりま天文台で開催されたスターダストで、たくさんの流れ星を見ることができました (8/12)
- ⑧利神小学校区の3つの地域づくり協議会が開いたキャンプで、あまごつかみをしました (7/9)

には、たくさんの方が

※ () 内の数字は開催日

- ①平松集落で4年に一度開催される武者踊り。大迫力の勇壮な舞に魅了されました (8/14)
- ②ふれあいの里上月で開催されたブルーベリー祭りで、甘い実を摘み取る (7/24)
- ③上月小学校子ども会のキャンプで、キャンプファイヤーのフィナーレ。楽しいひと時でした (7/23)
- ④久崎地区の高瀬舟まつりで披露されたフラダンス。みんなで一緒に腰を振りました (7/30)



写真右 あさぎり
賞の授賞式

写真下 左から作
文を発表した内海
さん、坂口さん、
石井さん



人とのつながりが犯罪を防ぐ

犯罪のない明るいまちづくり町民のつどいを開催

「第66回犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい」を7月28日にさよう文化情報センターで開催しました。

式典では佐用警察署の菅原浩二さんにあさぎり賞が贈られたほか、三河小学校の内海沙織さん(上三河)、三日月中学校の坂口流星さん(広山)、佐用高等学校の石井菜子さん(たつの市)が、人と人とのつながりが犯罪を防ぐことを訴えました。

また、吉本興業「大和魂」岡田さんの振り込め詐欺防止漫談で、笑いの中から気を引き締めました。



木の質感を感じる

もくもく村木工館が木工教室を開催

8月6日にもくもく村木工館が開催した木工教室で、参加した子どもたちが木の道具箱づくりをしました。渡された杉の板を箱の形に組み上げてみます。材料を使う場所がわかったら、くぎを打つ位置を決めてきりで穴を開けくぎを打ちます。

“トントン”と金づちでくぎを打つ音があちらこちらから響きます。参加した子どもたちは「たたくと木の中に釘が入っていくのが気持ちいい」と楽しみ、道具の使い方や木の質感を体で感じていました。



釘の頭をじっくり見て金づちを振る



本格的なことが学べる

佐用いきいき帰農塾で桃を収穫

くだもの作りを基礎から学び生産者を目指す「佐用いきいき帰農塾」で、春から手がけてきた桃が実り収穫しました。受講生はこれまでに腐りかけたり虫に食べられたりした実を摘み、無駄な枝を切って、袋をかけた桃が実るのを待っていました。受講生の下野憲一さん(山田)は「自分でも育てているが、塾で本格的なことが学べる」と、講師の話に耳を傾けます。

桃は1つだけ持ち帰って、収穫の喜びを味わいました。これからは、来年の実りに向けた準備を学びます。



熟した桃を探して摘み取ります

外国の人と話せてうれしい

イングリッシュキャンプを開催

英語で1泊2日を過ごすイングリッシュキャンプを、7月27日と28日に兵庫県立大学西はりま天文台で開催しました。

町内から集まった児童たちは、初めのゲーム「じゃんけんトレイン」で、お互いの名前を英語で聞きあってじゃんけんし、打ち解けます。休憩時間にも外国語指導助手(ALT)と好きな色や動物、アニメキャラクターを英語で紹介し合います。子どもたちは「なるべく英語を使っています。外国の人と話せて楽しい」と、笑顔を見せました。



「ロック」「シザーズ」「ペーパー」と英語でじゃんけん

強くなれそう

夏休み子ども将棋合宿が開催

佐用子ども将棋教室が、3人のプロの棋士を招いて合宿を開きました。会場のさよう文化情報センターには町内外の愛好家約100人が集まり、子どもたちが将棋盤を挟んで対戦し上位を競います。

3人の棋士は、一度に4人の子どもたちを相手に駒を打ちながら指導します。山口絵美菜棋士と対局し終えた名田彩華さん(中島)は、「自分で考えたのと違う手を教えてくれるから強くなれそう」と、手ごたえを得ていました。



棋士のうつ手に、じっと考え込む

笑顔がうれしい

上津中学校生徒が世界のひまわりを案内

東徳久集落で7月21日に、上津中学校の生徒がひまわり畑を案内しました。案内したのは、5月に生徒たちが植えた世界のひまわり。いろいろな花の形の美しさや、1つの株からたくさんの花をつける面白さが魅力です。

生徒たちはグループに分かれて「僕たちが作ったひまわりなんですが見ていきませんか」と、お客さんに声をかけます。案内した後に「ひまわりを見たお客さんが笑顔になってくれるのがうれしい」と、喜んでいました。



「ゴッホのひまわり」の特徴を説明

文化
募集

11月17日(木)から20日(日)に開催 多彩な作品が集まります

第36回佐用郡美術展の作品を募集

◎開催

- 日時 11月17日(木)から20日(日)
午前9時から午後5時(20日は午後3時)
- 場所 さよう文化情報センター

◎作品募集

- 部門 日本画・洋画・書・写真・工芸
- 規格
 - ・日本画 10号から50号まで、仮枠(作品から10号以上は不可)。ただし俳画は除く
 - ・洋画 10号から50号まで、仮枠(作品から10号以上は不可)
 - ・書 額装・枠装りは長形245号×85号、方形152号以内。帖、軸装は可。釈文を添付
- 写真 カラー、白黒とも全紙から大判紙の単写真でパネル張り、または額装
- 工芸 縦横高さともに180号、重量30kg以内。天然の造形によるもの及び手芸を除く。電源の使用はできません
- 応募資格 15歳以上(中学生は不可)
- 作品受付 11月12日(土)午前11時から午後3時
さよう文化情報センター
- その他 出品料は無料。詳しくはお問い合わせください

学びの泉

人権、スポーツの結果(町体協把握分)、イベント開催などの情報をお届けします

問 生涯学習課
☎ 82-3336

文化
募集

11月1日(火)から7日(日)に、前期と後期に分けて作品展示

まちの文化が集う「2016 さよう文化祭」を開催

「さよう文化祭」をさよう文化情報センターで開催します。今年は作品展示を前期と後期に分けて開催します。町内で活動するかたの素晴らしい芸術を、是非ご覧ください。

詳しくは広報8月号に折り込んだチラシをご覧ください。

●作品展示 New!

<前期> 11月1日(火)から3日(木)

<後期> 11月5日(土)から7日(日)

いずれも午前9時から午後5時

(最終日は午後4時まで)

絵画、写真、書、陶芸、工芸、生け花、手芸、押絵、絵手紙、パソコン制作品など

●芸能発表 11月3日(土)祝

邦楽、舞踊、コーラス、大正琴、民謡、ダンス、和太鼓、ファッションショーなど

●俳句大会／短歌大会

11月4日(日) 午後1時から

役場第1庁舎 本館3階301会議室

事前に募集した作品の表彰を行います

●ステージイベント New! 11月6日(日)

ロック、HIP-HOPなどのバンド・グループ、ダンス

[ステージイベント出演者募集]

・佐用町に縁のあるかたが活動する上記ジャンルのグループ・個人

・詳しくはお問い合わせください

・募集締切 9月25日(日)



昨年の文化祭へ出演した「民謡こうづき」の皆さん

図書館

今月の新着図書から司書がおすすめする3冊をご紹介します

新刊情報



『強父論』

▶著者 阿川佐和子

▶出版 文芸春秋

瞬間給湯器だった父、阿川弘之に罵倒されること何千回。娘の佐和子が強父語録とともに振り返る、94歳で大往生した父との62年間。



『噂の女医がこっそり教える女の不調が消える本』

▶著者 吉木伸子

▶出版 主婦の友社

女性ホルモン分泌量の減少による体の変化。人には聞けない悩みの数々を、科学的根拠をもって対処法を解説。



『里のいごこち』

▶著者 松橋利光

▶出版 新日本出版社

田んぼで産卵するカエル、山際の木にとまるエナガ。人の暮らしと自然の境目に暮らす生き物たちのカラー写真集。

Library info

問 ☎ 82-0874

開館時間 午前10時～午後6時

図書館からのお知らせ

月曜日・祝日休館

9月、10月の休館日

●9月 5.12.19.22.26.30

●10月 3.10.17.24.31

三日月図書室・三河出張所に
巡回図書を始めました

図書館が所蔵している小説を中心に約40冊の本を配置し、3カ月ごとに入れ替えます。貸し出しは一人3冊まで、期間は2週間です。本を借りるには、三日月図書室は従来どおりで自身で図書カードに記入、三河出張所は窓口で手続きをしてください。次回の入替は10月です。

おはなし会 ※申込不要

■図書館司書

【小さい人(5歳以上)】

●とき 毎週日曜日 午後2時～2時30分

9月のおはなし「ヤギとコロロギ」

【大きい人(小学3年生以上)】

●とき 毎週日曜日 午後2時30分～3時

9月のおはなし「ものがたりの会」

* 短い物語や絵本を読みます

■ボランティア「あそびせ隊」

●とき 毎週土曜日 午後2時～2時30分

●対象 幼児、小学生





健康カレンダー

もの忘れ・心のケア相談など

場所：佐用町保健センター

月日	内 容	時間
9/15 10/6	デイ・ケア（精神障がい者社会復帰訓練事業）	13:30～15:30
9/8	こころのケア相談（要予約）	13:30～

問 健康福祉課健康福祉推進室 ☎ 82-0661

赤ちゃんとお母さん

場所：佐用町保健センター

月日	内 容	時間
9/16	ヨチヨチ健康相談（H27.9月生）	13:30～
9/26	4カ月児健診（H28.5月生）	13:30～
9/12	0歳児クラス（7カ月～1歳未満） 0歳児クラス（2カ月～6カ月児）	10:00～11:30 10:30～12:00
9/12	すてきなママになるための教室	10:00～
10/6	すくすく離乳食教室（H28.3月生）	10:00～

場所：さよう子育て支援センター

月日	内 容	時間
9/21	3歳児健診（H25.4～25.5月生）	13:00～

問 健康福祉課健康福祉推進室 ☎ 82-0661

※母子健康手帳は、健康福祉課健康福祉推進室で交付します。事前にお問い合わせの上お越しください。

場所：龍野健康福祉事務所

月日	内 容	時間
10/7	こころのケア相談（要予約）	13:00～15:00
9/20 10/4	エイズ・肝炎相談（要予約）	13:00～14:50

問 龍野健康福祉事務所 ☎ 0791（63）5142

休日救急当直医 9月▶10月初め

急きょ変更となる場合があります

月日	医療機関名	電話番号
9/11	尾崎病院	77-0221
9/18	佐用中央病院	82-2154
9/19	佐用中央病院	82-2154
9/22	佐用共立病院	82-2321

月日	医療機関名	電話番号
9/25	佐用共立病院	82-2321
10/2	花房内科クリニック	82-2801
10/9	岡本医院	88-0605
10/10	織田医院	79-2206

column

地域包括支援センターだより

今月のテーマ

認知症のかたへやさしい地域づくり 「取り組み企業などの募集」



認知症のかたは、手助けをうまく求められませんか。私たちは、困っているかたを見かけたときに、どうしたらいいのか、どのように声をかけたらいいのかを知ることが大切です。

県は、認知症の正しい理解と適切な対応に努める企業を支援しようと、従業員向けの認知症サポートー養成講座を開催しています。対象企業は、小売り、飲食、交通、金融といった生活に関連した企業や事務所、組合などです。

講座は、県高齢対策課に申請書を提出すると、地域包括支援センターなどが開催します。1年間に1回の講座実施を報告すると「兵庫県版認知症サポーターステッカー」が店舗に送られ、県のホームページで企業名が公表されます。

詳しくは兵庫県ホームページをご覧ください

問 82・2079 高年介護課高年介護室

9月から始まります

「さよう健康ポイント」健康づくりを応援します



町と商工会は、町民の皆さんの健康づくりを応援する「さよう健康ポイント」を始めます。健診やイベント参加、ヘルシーメニューを食べ体を動かしてポイントをためませんか。

健康ポイントは「知る」「食べる」「動く」の中から健診やイベントに参加するともらえます。必須ポイントを含む5ポイント以上を集めて応募すると、抽選で景品（子育て応援券かふるさと振興券 1,000円分）がもらえます。

ポイントのため方

- ①知る ・特定健診（含人間ドック）→必須2ポイント
・がん検診（肺・胃・大腸・前立腺・乳・子宮がん健診）のうちどれか1つ
・特定保健指導、健康教室、健康講演会に参加など

②食べる ・減塩を続けている

・健康応援店でヘルシーメニューを食べる

健康応援店名	メニュー
姫松（仕出し）	鹿肉弁当
一平	豆腐入りお好み焼き
ふれあいの里上月	もち大豆みそ煮込みうどん
味わいの里三日月	味わい定食（そばがんも）
笹ヶ丘荘	ひまわり地鶏の親子丼

- ③動く ・週3日以上運動を2カ月以上続けている
・町主催のウォーキング大会、いきいき百歳体操に参加など

問 健康福祉課健康福祉推進室 ☎ 82-0661

menu 栄養士の食育献立メモ

今月の献立

秋はきのこがおいしくなる季節

「3種のきのこの炊き込みご飯」

きのこは低カロリーで食物繊維が豊富な食材です。腸内環境を整える作用があり、不要なものを体外に排出してくれます。また、食事のかさを増やし、満腹感を得やすくするので、食べ過ぎや体重増加が気になるかたへおすすめです。

【材料（4人分）】		・エリンギ	1本
・米	2合	・にんじん	50g ^ラ
・だし汁	2カップ	・油揚げ	10g ^ラ
・しめじ	50g ^ラ	・淡口醤油	大さじ1
・えのき	50g ^ラ	・酒	大さじ1

【作り方】

- ①米を洗い、ざるにあげ水を切っておく。
②しめじとえのきをほぐし、えのきは半分に切る。

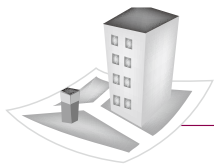


カラー写真は子育て支援サイト「さよっこネット」の食育情報でご覧になれます [さよっこネット](#) [検索](#)

エリンギは縦半分になり、斜めにスライスする。にんじんと油揚げは短冊切りにする。

③炊飯釜にすべて入れて炊く。

一人分栄養価	エネルギー	296kcal
	塩分	0.8g ^ラ



年金のことなら何でも相談

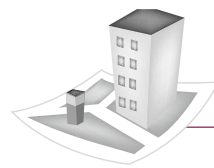
出張年金記録相談会（事前予約制）

monthly information

年金

姫路年金事務所の職員による出張年金相談会が実施されます。年金や年金記録に関する相談、また、年金事務所でを行う各種申請や手続きが行えます。

- 日時 9月15日⑥
午前10時30分から午後3時30分
- 場所 役場第一庁舎本館1階住民課
- 定員 先着16人
- 申込方法 基礎年金番号のわかるものをご用意の上、9月13日④までの平日に住民課でお申し込みください。
- 【当日持参するもの】
①被保険者のかたは年金手帳、年金受給者のかたは年金証書
②印かん
- 【ご注意】 本人以外の代理者が来られる場合、書式は問いませんが、本人からの委任状と、委任されたかたの運転免許証など、本人確認のできるものが必要となります。
- 委任状は、役場住民課や各支所・三河出張所にもあります。
- 住民課年金・保険室 ☎82-0660



上水道配管のつなぎ方・クロスコネクションは禁止

クロスコネクションはすぐに改善を

monthly information

上水道
配管

上水道の給水管を、山水や井戸水の配管とつなぐ「クロスコネクション」は、法律で禁止されています。事故やトラブルが発生しますので、すぐに改善しましょう。

- クロスコネクションになっていたら
佐用町指定給水装置工事業業者に連絡して、速やかに給水管と水道以外の管とを切り離してください。切り離しに要する費用は個人負担となります。



●放置しておく

①山水や井戸水が水道管へ逆流

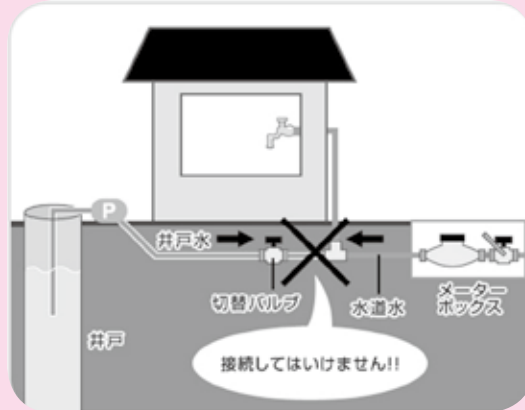
クロスコネクションのバルブの故障や操作不良などで、山水や井戸水が水道本管へ逆流して周辺地域の水質を汚染する恐れがあります。

②突然の高額料金・井戸へ水道水の流れ込み

大量の水道水が井戸などに流れ込み、後日高額の水道料金が請求されることがあります。この場合、請求の全額をお支払いいただくことになります。

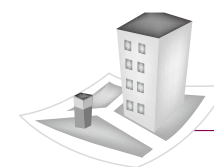


「クロスコネクション」とは



図のように、水道を給水する「給水管」と山水や井戸水などの「水道以外の管」が直接接続されているのがクロスコネクションです。必要に応じてバルブで切り替えて使用できる状態でもクロスコネクションとなります。

●上下水道課管理運営室 ☎82-0481



「要約筆記者養成講座」受講生募集

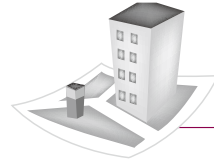
聴覚障がい者へわかりやすい文で伝える

monthly information

障がい者支援

要約筆記は、聴覚障がい者へ話す内容を、その場でわかりやすい文に要約して伝える支援です。この講座では、厚生労働省のカリキュラムに基づいて、手書きまたはパソコンによる要約筆記を学びます。

- 日時 11月9日から平成29年3月15日の毎週水曜日（全15日）
午後1時30分から午後4時30分
- 場所 加古川駅南まちづくりセンター
- 対象 兵庫県在住で18歳以上のかた。前期及び後期課程を8割以上受講でき、要約筆記者として活動できるかた
- 講座内容 聴覚障がいの基礎知識、要約筆記の基礎知識など。
- 受講料 無料（教材費は5,400円）
- 定員 各コース20人
- 申込方法 健康福祉課の窓口にて備えている申込書を郵送かファクス送信
- 申込先 県立聴覚障がい者情報センター
要約筆記講座担当
☎078-805-4175
- 締め切り 10月11日④まで
- 健康福祉課健康福祉推進室
☎82-0661



65歳から74歳で障がい者手帳などをお持ちのかた

後期高齢者医療制度に加入できます

monthly information

後期
高齢

65歳から74歳のかたで、次の要件に該当する場合、町へ申請することによって後期高齢者医療制度に加入できます。

- 要件
①身体障がい者手帳1級～3級をお持ちのかた
②身体障がい者手帳4級のうち、音声機能または言語機能の障がいをお持ちのかた
③身体障がい者手帳4級のうち、下肢障がいの1号、3号または4号に該当するかた
④A判定の療育手帳をお持ちのかた
⑤1級、2級の精神障がい者保健福祉手帳をお持ちのかた
⑥障がい年金を受給されているかた

ただし、現在加入されている医療保険と後期高齢者医療制度では、窓口負担や保険料率が異なるため、後期高齢者医療制度への加入は必ずしも有利になるとは限りません。

窓口負担や保険料などについて比較しますので、お気軽にご相談ください。

●住民課年金・保険室 ☎82-0660

Pick up 西播磨出会いサポートセンター

登録・相談一日出張所を開設

播磨科学公園都市内へ設置されている出会いサポートセンターの一日出張所を町内で開設します。会員登録のほ

か、出会いに関する相談も行います。

- 日時 10月9日⑥
午前10時から正午、午後1時から4時
- 場所 さよう文化情報センター
- 西播磨出会いサポートセンター
☎0791-58-1311

第10回
さようマラソン&ウォーク開催
monthly information

RATHON & WALK

スポーツ

12月11日⑩に三日月中学校を発着として、ハーフマラソンやウォーキングなどを行います。子どもから大人まで参加できる多彩な種目が盛りだくさん。ぜひ、ご参加ください。

種目	参加対象	参加費(町内在住在学者)	参加費(一般)
ハーフマラソン	高校生～34歳(男)	1,500円	3,000円
・	35～49歳(男)		
・	50歳以上(男)		
10㎞	高校生～39歳(女)		
	40歳以上(女)	500円	1,000円
ファンラン(1.8km) ※タイム計測なし	ジョギング ウォーキング		
3㎞	制限なし。ただし小学生以下は成人と一緒に参加		
	中学生(男)(女)		
1.0㎞	小学1～2年生(男)(女)		
	小学3～4年生(男)(女)		
1.8㎞	小学5～6年生(男)(女)		

- **申込方法** 生涯学習課、各支所、上月体育館などに備えている申込書を各窓口へ提出、もしくはインターネットサイト「RUNNET」でお申し込みください。
 - **申込締切** 10月21日⑩
- 問 生涯学習課 ☎ 82-3336

PICK UP — キラリ輝く佐用のアスリート

全国に挑む ● 水泳 井上賢斗さん(上長尾)

佐用高等学校1年生の井上賢斗さんが、高校総体近畿地区大会の水泳平泳ぎ100mで標準タイムをクリアし、全国高校総体(インターハイ)へ出場しました。8月20日に広島市総合屋内プールで泳いだ井上さんは、目標とした自己ベストの1分4秒97に、わずか0.9秒届かず「悔しかった」と振り返ります。「9月初旬の大会で再チャレンジしたい」と前を向いていました。



Pick up 消防団と協力して町を守る

消防協力員へ登録証を交付

町の消防団員は現在968人。町は少ない団員を補い、平日昼間の火災などで出動できる消防協力員を募集しました。

応募したのは消防団退団者をはじめ消防や防災経験者など男女54人。8月2日に消防協力員の登録証を交付しました。

登録証及びヘルメット、長靴を受け取った消防協力員は、「地域を守るため協力したい」と気を引き締めていました。



町長が協力員へ登録証を交付しました

おめでとうございます

叙勲

長年にわたり、社会、公共に力を尽くし、受章されたかたをご紹介します。

瑞宝双光章(高齢者叙勲)

谷口敏一さん(金子)



大阪の通信学校を卒業後、町内の郵便局で電報のタイプなど通信業務に携わりました。地域のかたに支えられ、平福郵便局で局長代理、三日月郵便局で局長などを歴任しました。定年後は自治会長を務めるなど地域活動へも貢献しました。

「皆さんに心安く協力してもらって、充実した仕事をさせてもらいました」と、笑顔で振り返りました。

戸籍の窓口

● 人のうごき

8月17日現在() 内は前月比

人口	17,835人	(△38)
男	8,551人	(△23)
女	9,284人	(△15)
世帯数	6,956戸	(△1)

出生 8人 死亡 25人
転入 20人 転出 41人

お悔やみ申し上げます

7月18日から8月17日届出分(敬称略)

名前 年齢 自治会

個人情報のため非公開

個人情報のため非公開

お誕生おめでとう

7月18日から8月17日届出分(敬称略)

人がつながる 地域がつながる
佐用チャンネル



平松の武者踊り

放送更新日

9月9日⑩
23日⑩

納税

tax premium information

今月の納税相談日
9月23日金

- 受付時間
午前8時30分から午後5時
- 受付場所
役場第一庁舎本館 税務課
災害・盗難・疾病・失業
や廃業などで納期限までに
町税が納められない場合は、
ご相談に応じます。
- 税務課 収納管理室
☎ 82-0662

納期限 **9月30日**金

- 国民健康保険税（普通徴収）
- 後期高齢者医療保険料
（普通徴収） 第3期分
- 住民課年金・保険室
☎ 82-0660
- 介護保険料（普通徴収）
- 高年介護課高年介護室
☎ 82-2079

募集

invite information

身体障がい者訓練生募集

- 募集科目（定員）
・OA事務科・グラフィック

編集後記

お盆には帰省した親戚のかたとにぎやかな時間を過ごしたかたもいらっしゃるでしょう。みんなふるさと佐用町です。皆さんの目に映るふるさとの景色はお祭りや友人、学校。そして山や川の景色ではないでしょうか。失われた昔の風情は今も私たちの心に生きています。今月号は生れ変わった「川」に、昔の景色や風情をつくり出そうとする皆さんを紹介しました。ぜひ読んでください。①

クアート科（各20人）
・インテリアCAD科（15人）

- 募集期間
① 10月3日⑩～10月20日⑩
② 12月1日⑩～1月26日⑩
- 応募方法
公共職業安定所へ相談の上、応募書類を提出してください。
- 選考日
① 11月1日⑩
② 平成29年2月7日⑩
- その他
授業料無料、通校困難な場合は入寮できます

● 兵庫障がい者職業能力開発校
☎ 072-782-3210

チェーンソー、草刈機
実技講習会開催
森林作業を始めるかたへ、
安全な使い方の講習や実技、
機械の整備方法を解説します。

- 日時
9月23日⑩
午後1時30分から4時
- 場所
佐用クリーンセンター（佐用坂）
- 参加費
無料
- 申込み
先着20人
農林振興課へお申し込み
ください。
- 農林振興課農林土木整備室
☎ 82-0667

サイクリングイベント
因幡街道・千種川ロング
ライド in 佐用

自然豊かで、歴史的な街
なみや史跡が残る因幡街道
と千種川沿いの4市町村を

巡る約80kmのサイクリング
イベント。深まる秋の紅葉
を楽しみながら走ります。

- 日時
11月13日⑩
- 参加費
5,800円
- 定員
300人
- 町観光協会
☎ 82-0670

いなちくロングライド

ひめじ若者サポートステーション

出張就職相談会

就職への不安や悩みを持つ
た若者や保護者のかたを対象
に個別相談会を開催します。

- 日時
9月27日⑩
午前10時から午後1時
- 場所
佐用町保健センター
- 募集人数
3人
※予約制で先着順です。
- 商工観光課定住対策室
☎ 82-0670

弁護士による
無料法律相談会

- 開催日
10月19日⑩
午後1時から4時
※相談時間は1組30分。
- 場所
第一庁舎本館会議室
- 申込方法
電話で事前予約
- 募集人数
先着6組
- 主催
近畿弁護士会連合会
- 総務課総務人事室
☎ 82-2549

行事

event information

秋の全国交通安全運動

- 期間
9月21日⑩から
9月30日⑩まで
- 秋の交通安全課題
①夕暮れ時と夜間の歩行や自
転車反射材用品の着用
②全座席のシートベルトと

- チャイルドシートの着用
- ③飲酒運転の根絶
- ④車や自転車の早めのライト
点灯
- ※交通法令やマナーを守り、
交通事故防止に努めましょう。
- 企画防災課防災対策室
☎ 82-0664

観月の夕べ

- 日時
9月14日⑩
午後5時から
芸能発表（邦楽演奏、舞踊）
俳句・短歌朗詠、お茶席
- 場所
さよう文化情報センター
- 主催
佐用町文化協会
- 生涯学習課 ☎ 82-3336

西播磨レインボーカード
で入場料が無料に

65歳以上のかたを対象に、
公共施設への入場が無料に
なる「西播磨レインボーカ
ード」を配布します。
利用期間は、9月30日⑩
まで。カードをご希望のか
たは、高年介護課、または
各支所へ申請してください。

- 利用対象施設
姫路城、姫路市立動物園、
同美術館、同水族館、好古園、
うすくち龍野醤油資料館、
赤穂市立歴史博物館、太子

町立歴史資料館など、西播磨
の20施設
● 高年介護課高年介護室
☎ 82-2079

気軽に行政相談を

皆さんの声を行政運営の改
善に役立てる行政相談を次の
日程で行います。

■ 定例行政相談

- 日時
9月14日⑩
(1) 午前9時から11時
三日月文化センター
(2) 午後1時から3時
役場第一庁舎本館、上月支
所、南光文化センター

■ 合同行政相談

- 日時
10月12日⑩
(1) 午前9時から11時
佐用町地域福祉センター
(2) 午後1時から3時
三河ふれあいセンター
- 総務課総務人事室
☎ 82-2549

その他

others information

お詫びと訂正

先月号「笑顔の輪」で紹介
した影山幹芳さんは元気で
活躍です。原稿の誤り
をお詫びし訂正します。

- 総務課広報室
☎ 82-2549

電気さく設置の注意点

野生動物が田畑へ侵入す
るのを防ぐ電気さくは、人
の感電防止のために、漏電
遮断器、スイッチ、表示板
の設置方法などが定められ
ています。詳しくは町ホー
ムページをご覧ください。
お問い合わせください。

- 農林振興課農林土木整備室
☎ 82-0667

9/10~9/16 自殺予防週間

9月10日から16日まで
7日間は「自殺予防週間」です。
若年層の自殺は、長期休
業明け直後に増える傾向
があります。大きなプレッ
シャーや精神的動揺が生じ
やすい時期ですので、学校
や家庭、地域で、子供たち
を注意深く見守りましょう。

- 健康福祉課健康福祉推進室
☎ 82-0661

まちづくりに役立つ
オースタムジャンボ宝くじ

宝くじの収益金はまちづ
くりを活用されます。ぜひ
県内でお買い求めください。

- 発売期間
9月26日⑩から
10月14日⑩
- 抽選日
10月21日⑩
- 県市町村振興協会
☎ 078-322-1151

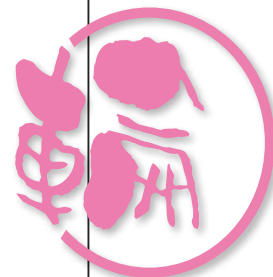
Pick up 佐用中学校吹奏楽部 県吹奏楽コンクールで銀賞受賞

佐用中学校吹奏楽部が吹奏楽コンクール
西播大会中学校Sの部で金賞を受賞。8月9
日に三田市で開かれた県のコンクールへ初
出場しました。部長の井上尋貴さん（桑野）
は「皆さんからたくさん応援していただい
てることに感謝して堂々と演奏したい」と
すがすがしい笑顔で県コンクールへのぞみ
ました。意気のそろった演奏で、銀賞を受
賞しました。





美しいハーモニーを響かせる「佐用いのりのとき合唱団」のみなさん



大切なふるさとを守りたい

さよう文化情報センターのリハーサル室から、美しい歌声が聞こえます。佐用いのりのとき合唱団は、毎年8月の定期公演会に向けて練習を重ねています。

全国で鎮魂歌を披露する上田益さん（東京都）たちのレクイエムプロジェクトが平成22年の「佐用町感謝のつどい」で公演しました。メンバーに町内のかたも加わって合唱し、感動的なステージとなりました。

会場に響いた歌声に心を打たれた方々が、町でもグループを作ろうとメンバーを募集しました。集まったかたのほとんどは、これまでにコーラスの経験がありません。しかし、被災した悲しい経験を歌でつないでいこう

という想い一つです。

現在のメンバーは約30人。声の質に合わせて女性にはソプラノとアルト、男性はテノールとバスに分かれた4部合唱団です。

公演で最後に聴衆と合唱するのは「大切なふるさと」。上田さんが佐用町のために作詞作曲した歌には「悲しい思い出を抱きしめ未来へ向かう」と、追悼と明日を見上げる気持ちが込められています。

「この歌を歌うときには涙があふれてくるんです」と、話す代表の孝本鈴子さん（上長尾）。いつまでも大切なふるさとを守りたいと願っています。同合唱団は、一緒に歌う仲間を募っています。

笑顔でまちを彩ろう

わが家のアイドル

あいき
神谷碧希ちゃん

いつも元気いっぱい。やさしくて素敵な、両親自慢の息子です。家族は、もう碧希にメロメロ。我が家の宝物。いつまでも、健康ですくすくイケメンに成長してね。

